

教科名	国語科	科目名	現代文	単位数	4 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース・文系	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	三省堂『高等学校 現代文 改訂版』、その他自主教材				
その他					

年間授業計画

月	学習項目	時間数	学習到達目標
4	1、随想 「市民のイメージ」	6	1、民主主義国家の成員である「市民」であることを、受動的ではなく、「市民」に成る、と能動的に考える必要性について考える。2、カフェの開店準備が人の人生とどういう類似点を持っているか、そして「私」はそれを見ながらどう思ったのかを整理し、まとめる。
	2、随想 カフェの開店準備	6	
5	1、小説(一) 山月記 (中間考査)	6	1、虎の姿に託して描かれた人間性とは何かを考え、親友との出会いと対話によって、自尊心で固く閉ざされていた心を開いていく主人公李徴の心のありようを捉える。2、思春期の愛と心の痛みに共感を覚えながら、「私」の幹生に対する思いの変化を確認し、語り手である大人になった「私」の、現在の思いを読み取る。
	2、小説(一) ひよこの眼	6	
6	1、評論(一) ミロのビーナス	8	1、詩的でアイロニカルな文章展開の妙を味わい、「ミロのビーナス」の失われた両腕に美を見出し、想像力の翼を駆って人間存在のありようを洞察する論旨を読み解く。2、日本の近代化の過程において、裸体が禁止され、着衣が広まったこと、また姿勢が変化したこととは何を意味するの
	1、評論(一) 身体像の近代化	8	
7	1、入試対策 自主教材 (期末考査)	4	夏休みを目前に、実際の入試に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力と、的確に表現できる力を養う。
8	1、入試対策 自主教材	4	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。
9	1、評論(二) ホンモノのおカネの作り方	8	1、二セガネ作りたちを支配してきた「ホンモノ」の形而上学には存在しない貨幣の本質について、論の展開を追いながら読み取る。2、「意味」とはどのように生成し、いかなるものであるのかを理解し、さらに日本語の特質について考察する。
	2、評論(二) 意味と日本語	8	
10	2、評論(二) 意味と日本語 (中間考査)	6	1、「意味」とはどのように生成し、いかなるものであるのかを理解し、さらに日本語の特質について考察する。2、お嬢さんとの恋によって変化したKの態度や様子をまとめる。「私」とKの心のありようを読み取る。
	2、小説(二) こころ	6	
11	1、小説(二) こころ	8	1、Kの自殺の場面における「私」の行動を読み取り、人と人との間に横たわる孤独と闇、近代人のエゴイズムについて考察する。2、実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読
	2、入試対策 自主教材 (期末考査)	8	
12	1、入試対策 自主教材	12	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。
1	1、入試対策 自主教材 大学入試センター試験	12	1、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。2、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。
2	1、入試対策 自主教材	12	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う
3			

教科名	国語科	科目名	現代文	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース・理系	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	三省堂『高等学校 現代文』、その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目	時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、随想 「市民のイメージ」	5	1、民主主義国家の成員である「市民」であることを、受動的にではなく、「市民」に成る、と能動的に考える必要性について考える。2、カフェの開店準備が人の人生とどういう類似点を持っているか、そして「私」はそれを見ながらどう思ったのかを整理し、まとめる。
	2、随想 カフェの開店準備	4	
5	1、小説(一) 山月記 (中間考査)	9	1、虎の姿に託して描かれた人間性とは何かを考え、親友との出会いと対話によって、自尊心で固く閉ざされていた心を開いていく主人公李徴の心のありようを捉える
6	1、評論(一) ミロのビーナス	6	1、詩的でアイロニカルな文章展開の妙を味わい、「ミロのビーナス」の失われた両腕に美を見出し、想像力の翼を駆って人間存在のありようを洞察する論旨を読み解く。2、日本の近代化の過程において、裸体が禁止され、着衣が広まったこと、また姿勢が変化したことは何を意味するのか、まとめる。
	1、評論(一) 身体像の近代化	6	
7	1、入試対策 自主教材 (期末考査)	6	夏休みを目前に、実際の入試に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力と、的確に表現できる力を養う。
8	1、入試対策 自主教材	3	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。
9	1、評論(二) ホンモノのおカネの作り方	6	1、ニセガネ作りたちを支配してきた「ホンモノ」の形而上学には存在しない貨幣の本質について、論の展開を追いながら読み取る。2、「意味」とはどのように生成し、いかなるものであるのかを理解し、さらに日本語の特質について考察する。
	2、評論(二) 意味と日本語	6	
10	2、評論(二) 意味と日本語 (中間考査)	3	1、「意味」とはどのように生成し、いかなるものであるのかを理解し、さらに日本語の特質について考察する。2、お嬢さんとの恋によって変化したKの態度や様子をまとめる。「私」とKのこころのありようを読み取る。
	2、小説(二) こころ	6	
11	1、小説(二) こころ	3	1、Kの自殺の場面における「私」の行動を読み取り、人と人との間に横たわる孤独と闇、近代人のエゴイズムについて考察する。2、実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。
	2、入試対策 自主教材 (期末考査)	6	
12	1、入試対策 自主教材	6	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。
1	1、入試対策 自主教材	6	1、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。2、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。
	2、入試対策 自主教材 大学入試センター試験	3	
2			
3			

教科名	国語科	科目名	古典	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース・文系	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古典としての漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。漢文読解に必要な基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深めるとともに、併せて優れた文章、詩に触れることによって中国の文化への理解・関心を深める。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	筑摩書房『古典』、その他自主教材				
その他					
年間授業計画					
月	学習項目	時間数	学習到達目標		
4	1、小説 離魂記	8	1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意識する。		
5	1、小説 偷桃 (中間考査)	4	1、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。2、張良の見事な論法を丁寧にたどり、臣下による主君への説得という、情理を兼ね備えた会話を読み取る。		
6	1、史伝二 留侯世家(高祖功臣を封ず) 2、史伝二 淮陰侯列伝(前半)	4 4	1、張良が劉邦に進言する内容を読み取り、権力者に対する忠言という、臣下として最も難しい事柄をいかに行っているかということから、言葉の大事さ、あるいは権力というものの恐ろしさなど、現代にも通じる課題を考える。2、蕭何と劉邦とのやりとりのおもしろさを通じ、特に劉邦の心理の変化を読み取る。		
7	1、史伝二 淮陰侯列伝(後半) (期末考査)	2	1、韓信による項羽という人物の描写の見事さを読み味わい、人民の信頼を得ていない権力は結局は滅ぶという真理を具体的に分かりやすく述べるという、その論法を理解する。		
8	1、漢詩二 李白(秋浦歌・蘇台覽古)	2	1、ともに有名な李白の詩を読み、絶句という短い詩型の中に歌われる、老いの嘆きや歴史懐古の情を味わう。		
9	1、漢詩二 李白(長干行) 2、漢詩二 杜甫(登岳陽樓・秋興)	4 4	1、民謡調の独特のリズムを味わいながら、主人公の女性の心情を、段落の展開にそって理解する。2、対句の素晴らしさなどの表現上の特色、作品の生れた社会的背景と内容の関連の、両面から理解する。		
10	1、漢詩二 杜甫(兵車行) (中間考査) 2、漢詩二 白居易(長恨歌)	4 4	1、戦争と庶民、という普遍的なテーマを理解する。また、句の長さが変化することで生れるリズム感についても理解する。2、ストーリーを追って段落に分けて内容を把握する。		
11	1、漢詩二 白居易(長恨歌) 2、漢詩のまとめ (期末考査)	4 4	1、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞する。また、白居易が日本文学に与えた影響などにも、理解を深める。2、今まで習った漢詩を復習して、学習の定着をする。		
12	1、思想二 老子 2、思想二 莊子	2 2	1、二年次の「思想一」で学んだ儒家に続き、諸子百家のさまざまな思想に触れ、中国人のものの考え方の幅広さを理解する。老子では逆説的な表現によって常識を覆す論理を理解する。2、莊子では、スケールの大きな寓話的世界を味わう。		
1	1、思想二 荀子 2、思想二 韓非子 大学入試センター試験	4 4	1、孟子の「性善説」と対比しながら、その論理を読み取る。2、一見すると非常に形式にとらわれた考え方を、その背景にある政治感覚や秩序感覚を丁寧に読解することで理解する。		
2	1、入試対策 自主教材	8	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う		
3					

教科名	国語科	科目名	古典	単位数	1 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース・理系	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古典としての古文漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広げ、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。読解に必要な文法事項や古語の知識、漢文の基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深める				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	筑摩書房『古典』、その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	学習項目	時間数	学習到達目標
4	1、漢文 小説 離魂記	4	1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意識する。
5	1、漢文 小説 偷桃 (中間考査) 2、古文 物語二 大鏡 (花山院の出家)	2 2	1、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。2、登場人物の行動、心情を読み取るとともに、紀伝体の語りの方に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。
6	1、古文 大鏡 (花山院の出家、南の院の競射) 2、漢文 史伝二 留侯世家(沛公秦宮に入る)	2 2	1、若き日の道長の真げし魂と強運を語る挿話を読み、劇を見るような語りのおもしろさ・魅力を味わう。2、張良が劉邦に進言する内容を読み取り、権力者に対する忠言という、臣下として最も難しい事柄をいかに行っているかということから、言葉の大事さ、あるいは権力というものの恐ろしさなど、現代にも通じる課題を考える。
7	1、漢文 史伝二 淮陰侯列伝 (期末考査)	1	1、韓信による項羽という人物の描写の見事さを読み味わい、人民の信頼を得ていない権力は結局は滅びるという真理を具体的に分かりやすく述べるといふ、その論法を理解する。
8	1、古文 日記二 蜻蛉日記(道綱鷹を放つ)	1	1、道綱と作者の言動を通して、その心情を読み取り、自己の魂の真実の告白がどのように表現として達成されているかを考察する。また、男性の漢字文化とは異なり、生活の中で習熟したかな文字による表現力を味わう。
9	1、古文 日記二 和泉式部日記(夢よりもはかなき世の中を) 2、古文 物語三 源氏物語(光源氏の誕生)	2 2	1、歌を読み合うという営為によって現実の身分差を超えて生成されるさまざまな感情を読み取り、王朝女流日記の豊かな世界を味わう。2、平安期の文学の多様な流れを統合した、物語文学の最高峰とも言うべき作品を通して王朝文学の粋を味わう。
10	1、古文 物語三 源氏物語(小柴垣のもと) (中間考査) 2、漢文 漢詩二 白居易(長恨歌)	2 2	1、光源氏が、後の伴侶となる紫の上を垣間見る場面はどのように描かれているかを読み取り、源氏の紫の上に対する心情の移り変わりを捉える。また、和歌に読み込まれた心情をたどるとともに、修辞法についても理解を深める。2、ストーリーを追って段落に分け、内容を把握する。
11	1、漢文 漢詩二 白居易(長恨歌) 2、漢文 思想二 老子・荘子 (期末考査)	2 2	1、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞し、白居易が日本文学に与えた影響にも、理解を深める。2、諸子百家のさまざまな思想に触れ、中国人のものかという考え方の幅広さを理解する。老子では逆説的な表現によって常識を覆す論理を、荘子ではスケールの大きな寓話的世界を味わう。
12	1、漢文 思想二 韓非子 2、漢文 思想二 墨子	1 1	1、一見すると非常に形式にとらわれたの考え方を、その背景にある政治感覚や秩序感覚を丁寧に読解することで法家の思想を理解する。2、墨家思想の「兼愛」の根本精神は何かを読み取る。
1	1、古文 評論 無名草子 2、入試対策 自主教材 大学入試センター試験	2 1	1、物語評論を読むことで、『源氏物語』や紫式部への興味を深めるとともに、作者の批評の視点を捉える。2、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。
2			
3			

教科名	国語科	科目名	古典講読	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース・文系	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古典としての古文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。古文読解に必要な文法を理解し、古語の知識を身につけ、文章の読解を深めるとともに、我が国の文化と伝統に対する関心を深め、古典に親しむ態度を養う。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	筑摩書房『古典講読[古文] 物語・評論選』、その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目	時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、竹取物語 大伴の大納言と竜の首の玉 2、竹取物語 かぐや姫の嘆き	3 3	1、2、登場人物の行動や心情を細かに読み取ることで、人々の願望や苦悩などのさまざまな人間的な感情がどう描かれているかを考察する。また、月の世界を理想の世界として思い描く古代人の想像力のあり方を理解する。
5	1、伊勢物語 月やあらぬ (中間考査) 2、伊勢物語 盗人	4 2	1、2、和歌を中心として展開する歌物語の特徴を理解し、修辞法に注意しながら、和歌の奥行きのある表現方法を味わう。また各章段の多様な愛の姿を読み取り、人々にとって和歌を詠むことが人生の中でいかに重要な行為であったかを考えることで、叙情的な美しさを読み味わう。
6	1、伊勢物語 狩りの使ひ 2、伊勢物語 小野の雪	4 4	1、2、3、和歌を中心として展開する歌物語の特徴を理解し、修辞法に注意しながら、和歌の奥行きのある表現方法を味わう。また各章段の多様な愛の姿を読み取り、人々にとって和歌を詠むことが人生の中でいかに重要な行為であったかを考えることで、叙情的な美しさを読み味わう。
7	1、伊勢物語 とみの文 (期末考査) 2、和歌の修辞法	2 2	1、和歌を中心として展開する歌物語の特徴を理解し、修辞法に注意しながら、和歌の奥行きのある表現方法を味わい、叙情的な美しさを読み味わう。2、和歌の修辞法の理解を深め、和歌をより深く鑑賞する力を養う。
8	1、紫式部と『源氏物語』	2	1、『源氏物語』に入っていく前段階として、「家系と人間形成」「『源氏物語』の創作とその世界」などの視点から、作者と物語への関心を深める。また、王朝文学の最高峰とも言うべき作品世界への理解を深める。
9	1、源氏物語 光源氏の誕生 2、源氏物語 飽かぬ別れ	4 2	1、2、平安期の文学の多様な流れを統合した、物語文学の最高峰とも言うべき作品を通して王朝文学の粋を味わう。「桐壺巻」では、両親の悲恋の物語から語り起こされ、その歴史を継ぐものとして源氏の生涯が始まっていくという点を理解する。また人物に対する敬語の用いられ方に注意し、敬語法について理解を深める。
10	1、源氏物語 飽かぬ別れ・心づくしの秋 (中間考査) 2、源氏物語 心づくしの秋	4 2	1、2、物語の展開にそくして、帝の心の動きと行動をたどる。また帝の心の葛藤をたどりながら、その背後にある、病氣療養やそこでの死が許されないという宮中の掟への理解を深める。須磨に退去した源氏の心情について考察し、また詩歌の引用など表現上の効果について理解する。
11	1、源氏物語 罪の子 (期末考査)	6	1、不義の子を抱かねばならず、またそれがかつての自身と藤壺との過ちを想起させ、人間の根底にある情念の醜さを思い知るといふ源氏の悲嘆や苦悩を読み取り、また出家した女三の宮に対する源氏の複雑な心の動きを捉える。
12	1、大鏡『大鏡の世界』 雲林院にて	4	1、『大鏡』の内容、構成・形式・成立時期、作者について理解する。紀伝体の語りの方に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。また、大宅世継、夏山繁樹、若侍という三者の目で複眼的に歴史を見据えていこうという作者の執筆意図をつかむ。
1	1、大鏡 菅公配流 2、入試対策 自主教材 大学入試センター試験	4 4	1、時平、道真の官位・年齢・人柄を整理し、人物像をまとめる。道真の配流の原因をつかみ、文中の和歌や漢文に込められた道真の心情を捉え、白居易と『白氏文集』の平安文学への影響・慣例について理解を深める。2、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。
2	1、入試対策 自主教材	8	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。
3			

教科名	地理歴史科	科目名	世界史B	単位数	3単位
対象学年	普通科特別進学コース 第3学年	履修形態	必修	授業形態	文系選択者
a. 科目の目標	世界の歴史の多様な枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
b. 学習内容の概要	第15章二つの世界大戦から第17章現代の世界				
c. 学習方法	教科書・ノート・図説を使用した講義方式				
d. 評価方法	定期考査による評価				
e. 使用教材	山川出版社『詳説世界史(改訂版)』				
f. その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	第一次世界大戦	第一次世界大戦	2	放課後などの補習を活用して内容の充実をはかる。	始業式
		ロシア革命	3		模擬試験 遠足
		ヴェルサイユ体制	4		
5	アジア・アフリカの民族主義	第一次世界大戦と東アジア	5		保護者会 中間考査 模擬試験
		インドの民族運動	2		
		東南アジア・西アジアの民族運動	2		
6	世界恐慌とファシズム	世界恐慌	3		県総体 進学講演 模擬試験
		日中戦争	3		
		ナチス＝ドイツ	3		
		ソ連＝スターリン体制	3		
7	第二次世界大戦 戦後世界	第二次世界大戦	3		期末考査 スポーツ祭 懇談会 終業式 進学合宿
		冷戦と第三世界の自立	6		
		朝鮮戦争	2		
8		第三世界の連帯	3		後期講習 模擬試験 始業式
9		米ソの動揺	2		模擬試験
		軍縮	2		
		社会主義世界の解体	4		
		第三世界の分化	2		
10	受験対策演習	問題集中心の演習	12	オリジナル問題集をもとに、大学受験に向けての実践力を養成する。	体育祭 中間考査 数学検定 模擬試験
11	受験対策演習	問題集中心の演習	12		創立記念日 模擬試験 文化祭
12	受験対策演習	問題集中心の演習	9		期末考査 懇談会 終業式 冬期講習
1					冬期講習 始業式 模擬試験 入学試験
2					入学試験
3					期末考査 卒業式 特別授業 模擬試験 模擬試験

教科名	地理歴史科	科目名	日本史B	単位数	3単位
対象学年	普通科特別進学コース 第3学年	履修形態	必修	授業形態	文系日本史B選択者
a. 科目の目標	日本史の歴史的流れを、世界史的視野から考察するとともに、律令制から荘園制の発展(2年次)、太閤検地、近世流通発達史、近代の産業革命、戦後の農地改革と財閥解体など、経済史的側面からのアプローチに重点を置きながら、政治史・文化史・(宗教)思想史を3本柱として学習を進める。全体として、根拠を明示する「実証」的姿勢を大切にするとともに、問題解決的な「実践」性を養いたい。				
b. 学習内容の概要	近世、近代・現代の流れを理解する。近世、近代・現代は2学期までに終了。大学入試センター試験・私大受験・国公立大2次試験に対応するため、教科書終了後は総復習と問題演習に重点をおく。				
c. 学習方法	教科書、参考資料をフル活用し、講義スタイルで展開する。				
d. 評価方法	定期考査、実力テスト、各種課題の提出など、定期考査を中心とする判断材料の中で総合的に評価する。				
e. 使用教材	教科書「詳説日本史B」山川出版社 問題集「日本史B10分間テスト」山川出版社 ワーク「詳説日本史Bノート」山川出版社 担当者オリジナル受験対策テキスト「日本史の基礎と応用」など。				
f. その他	平日講習、夏期講習、冬期講習では授業を進める(前年比、単位削減分をここで補うこととする)。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項	
4	第3部 近世	織豊政権と「天下」統一	4	「大航海時代と宗教改革」を概観し、織豊政権との関連を考える。「天下」の内実を分析し、幕藩体制の基本的構造を組織・法令・外交など総合的に理解したい。	始業式	
	第6章 幕藩体制の 確立	江戸幕府の成立	2		遠足・模試	
		幕藩体制の基本構造[組織]	2		進研模試	
		幕藩体制の基本構造[法令]	2			
5	第7章 幕藩体制の 展開	幕藩体制の基本構造[外交]	3	外交政策について、鎖国体制の完成まで年号形式でその内容を理解する。また、武断から文治政治へ。4代家綱～7代家継までの基本政策を把握する、など。	中間考査	
		幕政の安定について	3		県総体	
		経済の発展	3			模擬試験
		元禄文化とその思想	4			期末考査
6	第8章 幕藩体制の 動揺	享保の改革	3	享保の改革 田沼政治 寛政の改革 大御所政治 天保の改革について、それぞれの基本政策を理解する。百姓一揆についてはその前後との関連[土一揆と自由民権期の激化事件]で分析したい。	スポーツ祭 進研模試 終業式 進学合宿	
		百姓一揆概観	2			
		田沼時代と寛政の改革	3			
		大御所政治と天保の改革	3			
7	第4部 近代・現代	化政文化[美術と文学]	2	化政文化について、美術・文学・国学・洋学・儒学と経世思想をそれぞれ概観し、その特徴を理解したい。さらに、国学については尊王思想との関連も考えたい。	中期講習 後期講習 始業式	
		化政文化[国学と洋学]	3			
		化政文化[儒学と経世思想]	3			
8	第9章 近代国家の 成立	列強の接近と開国	4	列強の接近に対する幕府の対応の中で下級武士が登場、政治運動の過程で尊王論と討幕論が結合する「流れ」を理解する。新撰組の歴史的位相にも注目する。	体育祭 中間考査 模試 模試	
		幕府の対応	2			
		幕末～明治維新期の政治運動	6			
		戊辰戦争と明治政府の成立	2			
9		明治政府の諸政策	5	明治政府による神道国教化政策と対抗思想の脆弱性、啓蒙思想から自由民権思想へ、民権運動の敗北から憲法制定・初期議会、日清戦争の勝利まで複雑な流れをわかりやすく理解したい。	創立記念日 模試 文化祭	
		啓蒙思想・土族反乱	2			
		自由民権運動とその思想	4			
		初期議会と条約改正	2			
10	第10章 近代日本と アジア	朝鮮問題と日清戦争	3	明治内閣史を日清・日露戦争と関連付け、理解したい。また、大正デモクラシーの背景となった吉野作造・美濃部達吉の思想について分析する。	創立記念日 模試 文化祭	
		日露戦争と明治内閣史	4			
		近代産業の発展	3			
		明治の文化	3			
11		ワシントン体制と協調外交	4	1920年代の協調外交と、30年代の強硬外交と軍部の台頭について、対中国・朝鮮政策と関連付けて理解したい。	創立記念日 模試 文化祭	
		護憲三派内閣の成立	4			
		軍部の台頭	5			
12	第11章 占領下の日本 第12章 高度成長の 時代	第二次世界大戦と日本	4	アジア・太平洋戦争の中で、日中全面戦争から対米英戦になぜ突入したのか、順を追って理解したい。また、戦後史は現代社会的視点も大切にしたい。	期末考査 模試 終業式 冬期講習	
		戦後内閣史整理 その1	4			
1		センター試験直前対策	4	センター対策・私大受験対策・国公立大2次試験対策。総復習を含め、政治史・経済史・文化史を中心に要点を整理する。	実力テスト センター 試験 入学試験	
		私大受験対策	4			
		私大受験対策	4			
		国公立大2次試験対策	4			
2		国公立大2次試験対策		記述式への全対応をめざす。おもに政治・経済史を中心に流れを理解し、かつ表現力も養う。	国立2次 試験	
		国公立大2次試験対策				
		国公立大2次試験対策				
3		国公立大2次試験対策			卒業式 特別授業 国立2次 試験	
		国公立大2次試験対策				

教科名	地理	科目名	地理 B	単位数	2 単位
対象学年	第 3 学年 普通科	履修形態	選択	授業形態	分割授業 (理系)
科目の目標	「現代世界の地理的事象を系統地理的、地読的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う」という指導要領に示されている目標が本科目の目標である。				
学習内容の概要	「自然と生活」「世界の諸地域」を 2 年時で、「グローバル化する現代世界」「地球的な課題」を 3 年時に...と 2 年間に渡って学習する。				
学習方法	科目の目標が達成できるように、また単なる知識の暗記に陥らないように生徒自らが「何故だろう」と絶えず発想し、興味を持って学習できるように工夫する。				
評価の観点・ 評価方法	知識の暗記だけではなく、発想の広がりを持った生徒を育てることに留意したい。 具体的な評価として、定期考査・各課題の提出状況・出席状況・授業中の態度等をもとに総合的に評価する。				
使用教材	帝国書院「新詳地理 B 初訂版」 帝国書院「新詳高等地理初訂版」				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第 部世界の諸地域 ○州・大陸規模の地域の調査	○西アジア 中央アジア	2 2 2	・厳しい自然環境の様子やイスラム教を通じた民族の交流について理解させる。また、石油に依存する経済の様子と問題点についても考察させる。	始業式
5		○ヨーロッパ ○東南アジア	2 2 2 2	・EU の歩みから人やものの交流を理解させる。また、EU 諸国の農業と工業の課題などについても考察させる。 ・東南アジアの民族・文化や農業などの特色と地域的差異を考察させ、ASEAN の組織についても考察させる。	中間考査
6	第 部グローバル化する現代社会 ○近隣諸国の研究	○韓国	2 2 2 2	・朝鮮半島の自然や民族・文化について日本との比較を通して考察させる。	期末考査
7		○中国	2 2	・中国の人々の生活(農・工中心)や政治・経済体制について考察させる。	終業式
8		○ロシア	2	・広大な国土をもつロシアに居住する様々な民族の生活について理解させる。	始業式
9	○結びつきを強める現代世界の課題のとらえ方 地図でとらえる現代社会	○国家・交通・通信・時差 貿易 南北問題	2 2 2 2	・国家の形態について理解させ、国境をめぐる諸問題について考察させる。 ・世界の交通網の地域差や情報社会における現状と課題について考察させる。 ・貿易に関する基礎的知識を定着させる。 ・生活の格差を地図化することで南北問題を捉えさせる。	
10	○地域区分でとらえられる現代世界の課題 第 部地球的な課題 人口・食料問題	○アフリカ ラテンアメリカ 中南アフリカ デンマーク	2 2 2 2	・アフリカやラテンアメリカの地域区分の事例を通して、その地域の概況や抱えている課題を考察させる。 ・発展途上国の人口・食料問題の事例として中南アフリカを、先進国のその事例としてデンマークをあげ、その現状と課題を考察させる。	中間考査
11	○都市・居住問題 ○環境・エネルギー問題	○ラゴス メキシコシティ ロンドン 日本 ○様々な環境・エネルギー問題	2 2 2 2	・発展途上国の都市問題の事例として、ラゴス・メキシコシティを、先進国のその事例としてロンドンをあげ、現状と対策を考察させる。 ・日本のそれについても現状と問題点を考察させる。 ・環境破壊の具体的事例をあげ、その解決策を考察させる。	期末考査
12	民族・領土問題 総合的学習	民族・領土 センター対策	2 2	・民族の多様性をめぐる諸問題について、その時代背景を重ね合わせて考察させる。	終業式

			2	・問題演習	
1	総合的学習	センター対策	2 2	・問題演習	始業式

教科名	公民	科目名	現代社会	単位数	1単位
対象学年	第3学年 普通科 文系特進コース	履修形態	選択	授業形態	文系選択者
科目の目標	1・2年時に学んだ現代社会学習を基に、基本的事項・重要事項を再確認し、大学入試に十分対応できる力を養う。 演習問題・センター試験予想問題等を繰り返し、確認することによって実力アップを目指す。 3年間を通じた現代社会の総まとめであり、生徒一人ひとりの人間的資質の形成に役立つことを願いたい。				
学習内容の概要	現「現代に生きるわたしたちの課題」 センター試験対策・大学入試対策(2学期～)				
学習方法	教科書・学習ノートの活用を中心に、日常的な事柄を新聞・ニュースなどを通してみる学習活動。 現代社会が直面する様々な問題に対して、調べ学習・ディベート・プレゼンテーション等を通じ、 自らすすんで取り組む力を養う主体的学習活動。				
評価の観点・ 評価方法	評価の観点は、現代社会と人間に関する関心とよりよい社会の実現に向けて参加しようという意欲・態度・ 広い視野に立った思考・判断、基本的な知識・理解、資料活用等の技能・表現力とする。 具体的評価として、定期考査・各課題等の提出状況・出席状況等をもとにし、総合的に評価する。				
使用教材	東京書籍「現代社会017」 東京書籍「現代社会ワークノート」 栄光ゼミナール編「センター試験現代社会・要点&演習」 東京法令出版「NEW・COM・PASS」現代社会				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	第1章～第4章 「センター試験対応問題」	センター試験必須事項	1	新聞・資料集等の最新情報提供 補習授業との調整 個人達成度の確認と課題チェック	始業式
		一問一答正誤判定演習	1		
		センター形式演習	1		
5	第5章～第13章 「センター試験対応問題」	センター試験必須事項	1	新聞・資料集等の最新情報提供 補習授業との調整 個人達成度の確認と課題チェック	中間考査
		一問一答正誤判定演習	1		
		センター形式演習	1		
6	第14章～第22章 「センター試験対応問題」	センター試験必須事項	1	新聞・資料集等の最新情報提供 補習授業との調整 個人達成度の確認と課題チェック	期末考査
		一問一答正誤判定演習	1		
		センター形式演習	1		
7	第23章～第28章 「センター試験対応問題」	一問一答正誤判定演習	1	新聞・資料集等の最新情報提供 補習授業との調整	終業式
		センター形式演習	1		
8	1学期の総まとめ	まとめプリントの確認・テスト	1	個々の達成度の確認	始業式
9	センター試験対策	センター試験演習	1		
		入試問題演習	1		
			1		
10	センター試験対策	センター試験演習	1		中間考査
		入試問題演習	1		
			1		
11	センター試験対策	センター試験演習	1		
		入試問題演習	1		
			1		
12	センター試験対策	センター試験演習	1		期末考査
		入試問題演習	1		
			1		終業式
1	センター試験対策	センター試験演習	1		始業式
		入試問題演習	1		
			1		卒業考査
2					
3					卒業式

教科名	数学	科目名	数学	単位数	2 単位
対象学年	第3学年(普通科) 特別進学コース 文系	履修形態	必修	授業形態	文理2分割/ 一斉授業
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験およびセンター試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	数学 A分野を中心に、演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	東京書籍 数学 A 数研出版 4STEP数学 + A 数研出版 チャート式基礎からの数学 + A				
その他	毎週1回の平日課外学習で、授業を終えた範囲の演習(80分)、3週に2回の土曜講習で同様の演習を行う(90分)。				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	数学 A演習	数学 A演習	2 2 2	数学 A演習 数学 A演習 数学 A演習	始業式 新入生合宿
5			2 2	数学 A演習 数学 A演習	中間考査
6			2 2 2 2	数学 A演習 数学 A演習 数学 A演習 数学 A演習	
7			2 2	数学 A演習	期末考査 終業式 夏期講習・夏期合宿
8	数学 Aセンター対策 演習		2	数学 Aセンター対策 演習	夏期中期講習 夏期後期講習 始業式
9		数学 Aセンター対策 演習	2 2 2 2	数学 Aセンター対策 演習 数学 Aセンター対策 演習 数学 Aセンター対策 演習 数学 Aセンター対策 演習	
10			2 2 2	数学 Aセンター対策 演習 数学 Aセンター対策 演習 数学 Aセンター対策 演習	中間考査
11			2 2 2 2	数学 Aセンター対策 演習 数学 Aセンター対策 演習 センター試験対策演習 センター試験対策演習	
12			2 2 2	センター試験対策演習 センター試験対策演習	期末考査 終業式 冬期講習
1			2 2 2	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
2			2 2 2	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
3			2 2	個別試験対策演習 個別試験対策演習	卒業式

教科名	数学	科目名	数学	単位数	3 単位
対象学年	第3学年(普通科) 特別進学コース 文系	履修形態	必修	授業形態	文理2分割/ 一斉授業
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験およびセンター試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	数学 B分野を中心に、演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	東京書籍 数学 B 数研出版 4STEP数学 + B 数研出版 基礎からの数学 + B				
その他	毎週1回の平日課外学習で、授業を終えた範囲の演習(80分)、3週に2回の土曜講習で同様の演習を行う(90分)。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学 B 演習	数学 B 演習	3	数学 B 演習	始業式 新入生合宿
			3	数学 B 演習	
			3	数学 B 演習	
5			3	数学 B 演習	中間考査
			3	数学 B 演習	
			3	数学 B 演習	
6			3	数学 B 演習	
			3	数学 B 演習	
			3	数学 B 演習	
7			3	数学 B 演習	期末考査 終業式 夏期講習・夏期合宿
8	数学 B センター対策 演習	数学 B センター対策 演習	3	数学 B センター対策 演習	夏期中期講習 夏期後期講習 始業式
			3	数学 B センター対策 演習	
			3	数学 B センター対策 演習	
9		数学 B センター対策 演習	3	数学 B センター対策 演習	
			3	数学 B センター対策 演習	
			3	数学 B センター対策 演習	
10			3	数学 B センター対策 演習	中間考査
			3	数学 B センター対策 演習	
			3	数学 B センター対策 演習	
11			3	数学 B センター対策 演習	
			3	数学 B センター対策 演習	
			3	センター試験対策演習	
12			3	センター試験対策演習	期末考査 終業式 冬期講習
			3	センター試験対策演習	
1			3	個別試験対策演習	始業式
			3	個別試験対策演習	
			3	個別試験対策演習	
2			3	個別試験対策演習	期末考査
			3	個別試験対策演習	
			3	個別試験対策演習	
3			3	個別試験対策演習	卒業式
			3	個別試験対策演習	

教科名	数学	科目名	数学	単位数	5 単位
対象学年	第3学年(普通科) 特別進学コース 理系	履修形態	必修	授業形態	文理2分割/ 一斉授業
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	極限、連続関数の概念をつかみ、無限級数の収束・発散について学習する(極限)。さまざまな初等関数の微積分を扱い、高階導関数とグラフ、部分積分や置換積分を学ぶ(微分・積分)。基本事項を早めに習得し、高校数学全般の演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	教科書の内容を中心に問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	東京書籍 数学 数研出版 4STEP数学 +C 数研出版 解法と演習 数学 +C				
その他	毎週1回の平日課外学習で、授業を終えた範囲の演習(80分)、3週に2回の土曜講習で同様の演習を行う(90分)。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	極限	数列の極限	4 4 4	数列の極限 関数 関数の極限	始業式 新入生合宿
5	微分	微分法 いろいろな関数の導関数	4 4 4	導関数、積・商の微分法 合成関数の微分法 三角関数の導関数	中間考査
6			4 4 4 4	対数関数・指数関数の導関数 高次導関数	期末考査
7	微分の応用	接線・関数の増減 いろいろな微分の応用	4 4 4	接線の方程式、平均値の定理 関数の増減、極大・極小 曲線の凹凸 最大・最小、方程式・不等式等	終業式 夏期講習・夏期合宿
8	積分とその応用		4	媒介変数表示、速度・加速度等 不定積分 定積分	夏期中期講習 夏期後期講習
9	数・C 演習	数・C 演習	4 4 4 4	面積・体積 数・C 演習 数・C 演習 数・C 演習	始業式
10			4 4 4	数・C 演習 数・C 演習 数・C 演習	中間考査
11			4 4 4 4	数・C 演習 数・C 演習 センター試験対策演習 センター試験対策演習	
12			4 4 4	センター試験対策演習 センター試験対策演習	期末考査 終業式 冬期講習
1			4 4 4	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
2			4 4 4	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
3			4	個別試験対策演習	卒業式

教科名	数学	科目名	数学C	単位数	3 単位
対象学年	第3学年(普通科) 特別進学コース 理系	履修形態	必修	授業形態	文理2分割/ 一斉授業
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	行列の加法・乗法などの演算に習熟し、連立方程式の解法と関連して、点やベクトルの変換について学ぶ(行列)。2次曲線を中心にいろいろな曲線について学ぶ(式と曲線)。基本事項を早めに習得し、特に数学A・B分野の演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	教科書の内容を中心に問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	東京書籍 数学C 数研出版 4STEP数学 +C 数研出版 解法と演習 数学 +C				
その他	平日の放課後、講習で毎週1回(80分)、授業を終えた範囲内でのプリント演習、土曜講習で3週に2回90分の同様の演習を行う。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	行列とその応用	行列の応用	3	連立方程式と行列 行列による点の移動 原点のまわりの回転	始業式 新入生合宿
			3		
			3		
5	いろいろな曲線	2次曲線	3	移動の合成と積 放物線・楕円・双曲線 2次曲線と直線	中間考査
			3		
			3		
6		媒介変数表示と曲座標	3	2次曲線と平行移動 2次曲線と離心率 媒介変数表示 極座標と極方程式	
			3		
			3		
7			3	いろいろな曲線	期末考査 終業式 夏期講習・夏期合宿
8	数学 A・B 演習	数学 A・B 演習	3	数学 A・B 演習	夏期中期講習 夏期後期講習 始業式
9			3	数学 A・B 演習 数学 A・B 演習 数学 A・B 演習 数学 A・B 演習	
			3		
			3		
10			3	数学 A・B 演習 数学 A・B 演習 数学 A・B 演習	中間考査
			3		
			3		
11			3	数学 A・B 演習 数学 A・B 演習 センター試験対策演習 センター試験対策演習	
			3		
			3		
12			3	センター試験対策演習 センター試験対策演習	期末考査 終業式 冬期講習
			3		
			3		
1			3	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
			3		
			3		
2			3	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
			3		
			3		
3			3	個別試験対策演習	卒業式

教科名	理科	科目名	物理	単位数	5 単位
対象学年	第3学年 普通科(理系)	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の物理分野における一般的な教養を身につけさせることを目標にしている。				
学習内容の概要	自然界における現象を基本的な原理・法則に基づいていることを理解する。				
学習方法	実験や視聴覚教材を利用し、演習問題を通して教科書の内容を理解させる				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書、啓林館 物理 改訂版 問題集 啓林館 センサー物理				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出を行なう				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	力と運動	平面内の運動 放物運動 運動量の保存 反発係数 章末問題	15	・直線運動から平面運動について理解する。・2物体の衝突から運動量の保存と跳ね返りについて理解する。	始業式
5		円運動 慣性力と遠心力 単振動 章末問題	15	・周期的な運動の法則を理解する。・作用力と運動による見かけの力を判断しその法則性を理解する。・惑星の運動や万有引力について理解する。	中間考査
6	電気と磁気	電界 電位 コンデンサー 章末問題	18	・電荷にはたらく遠隔力から電界の存在を理解し、電界のする仕事と位置エネルギーの関係から電位及び電位差を理解する。・コンデンサーの原理と働きを理解する。・導体を移動する自由電子から電流について理解する。・電気抵抗と回路を流れる電流の関係を理解する。	期末考査
7		電流 直流電流 章末問題	11		終業式 夏期補習
8		磁気力と磁界 電流がつくる磁界 電流が磁界から受ける力 ローレンツ力 章末問題	5	・磁気力から磁界について理解し、さまざまな電流のつくる磁界について理解する。・さまざまな電流が磁界から受ける力の大きさを理解する。・荷電粒子が磁界から受ける力を理解する。・電磁誘導の法則をする。磁界中を運動する導体が受ける力を理解する。・コイルに流れる電流と発生する磁界から自己誘導と相互誘導について理解する。・誘導起電力と交流の発生について理解する。・電気振動と電磁波の発生について理解する。	始業式
9		電磁誘導の法則 磁界中を運動する導体の棒 自己誘導と相互誘導 交流	20		
10		電気振動と電磁波 章末問題	20		中間考査
11		物質と原子	物質の三態 気体の状態方程式 気体分子の熱運動 熱力学第1法則 状態変化と熱・仕事 章末問題	18	・分子の熱運動と物質の三態変化の関係を理解する。・気体の法則について理解する。
12	原子と原子核	電子の電荷と質量 原子の中の電子 物質中の電子のエネルギー 固体中での電子のふるまい 章末問題	15	・内部エネルギーの変化より、熱力学第一法則を理解する。・熱と仕事の関係より熱効率について理解する。真空放電から電子の存在が発見される過程を理解する。・原子核の予言や原子モデルの成立について理解する。物質中の電子の動きから半導体やトランジスタの原理を理解する。	期末考査
1		光の粒子性 X線 粒子の波動性 電子モデル 章末問題	15	・原子の構造について理解する。・光電効果から光の粒子性について理解する。・X線の発生原理とその効果からその粒子性を理解する。極小世界における粒子と波動の二重性を理解する。・電子のエネルギー準位を理解する。・量子力学の誕生について理解する。	終業式
2		放射線と原子核 原子核とエネルギー 素粒子と宇宙 章末問題	18	・放射線の実験から原子核の存在を理解する。原子核のもつ膨大なエネルギーとその解放について理解する。・宇宙の誕生と素粒子について理解する。	始業式
3					卒業式

教科名	理科	科目名	化学	単位数	4 単 位
対象学年	第 3 学 年 普通科 (理 系)	履修形態	必修	授業形態	単 独
科目の目標	化学 で学んだ学習内容を深く掘り下げたりその範囲を広げ、さらに高度な化学的概念や知識・原理・法則を理解させる。ま、センター入試で7割以上得点の実力を養成すると共に、私立の入試や国公立の2次入試の問題演習も行う。				
学習内容の概要	化学 の土台の上に、化学結合、気体・液体の性質について学ぶ(第1部)。化学反応の速さと化学平衡の概念、電離平衡などを扱い(第2部)、高分子化合物の概要と主な糖類、アミノ酸、タンパク質について学ぶ(第3部)。さらに、生活と生命に関連する物質について具体的に学習する(第4,5部)。				
学習方法	視聴覚教材などを利用し、教科書の内容を理解させるとともに、入試問題を用いて実戦演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況等で評価する。				
使用教材	啓林館「化学」、東京書籍「ニューグローバル化学 +」、東京書籍「ダイナミックワイド図説化学」				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出を行なう。また、平日の課外学習で、毎週80分の講習において、センター入試対策を行う。				
年 間 授 業 計 画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第1部 物質の構造	第1章 化学結合	10	化学結合の種類と仕組み、および化学結合の違いが物質の性質にどのように反映するかを十分学習させる。	始業式
5		第2章 物質の状態変化	15	エネルギーの観点から状態変化を考察する学習を行う。	中間考査
		第3章 気体の性質		気体の体積が、温度・圧力の変化にともない、どのように変化するかを考察し理解する。	
6		第4章 溶液の性質	10	溶解の仕組みを理解させ、濃度、溶解度、ヘンリーの法則、希薄溶液、コロイドの性質を学ぶ。	期末考査
7	第2部 反応速度と平衡	第1章 反応速度	15	化学反応における反応速度と反応のしくみ、可逆反応における化学平衡とその移動、さらに電離平衡について学ばせる。	終業式
8		第2章 化学平衡	15	可逆反応を理解させた後、化学平衡の概念を理解させる。化学平衡の移動がルシャトリエの原理に従うことを理解させ、化学工業で、反応速度・化学平衡の知識がどのように活用されているかを理解させる。また、電離平衡をもとに、いろいろな水溶液のpHが求められるよう指導する。	始業式
9					
	第3部 高分子化合物	第1章 高分子化合物の分類と特徴 第2章 糖類とタンパク質	10	主に、高分子化合物である糖類、タンパク質について学ぶ。	中間考査
10	第4部 生活と物質	第1章 食品と衣料の化学 第2章 材料の化学	10	われわれの生活になじみ深い衣食住に関係する物質について学ぶ。	
11	第5部 生命と物質	第1章 生命体を構成する物質 第2章 生命を維持する化学反応 第3章 薬品の化学	10	生物の体を作る物質やその物質の体の中の化学反応について学ぶ。	
12	センター試験対策		20	センター試験や模擬試験の過去問を中心に学習し、実力を養成する。	期末考査 終業式
1	二次対策		20	国・公・私立大学の二次試験の過去問を中心に学習し、より深い内容を理解させる。	始業式
2					卒業考査
3					卒業式

教科名	理科	科目名	生物	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科・文系	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す普通科の生徒に対し、自然科学の一般的な教養を身につけさせると同時に、演習問題を中心としセンター試験で高得点につながることを目標とする。				
学習内容の概要	問題集による生物 の基礎的内容の理解および発展学習、自然科学の探求に必要な思考力を問う				
学習方法	演示実験や生徒実験および視聴覚教材を利用しながら教科書の内容を理解させる。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につけさせる				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・実験観察の態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書、数研出版 生物 問題集、数研出版 生物 資料集、実教出版 生物総合資料				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて課外授業や宿題提出を行なう 週1回放課後の補習				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	第1篇 生命の連続性 第2編 生物の生活と環境	細胞と個体の成り立ち 生殖と発生 遺伝 刺激の受容と反応 内部環境の恒常性 自律神経 植物の反応と調節	6	生物 の内容において、理解が難しいと思われる内容、特に遺伝・計算問題・グラフの理解を重点的に学習する。小テストを行い解説もする。	始業式
5			6		中間考査
6			6		期末考査
7			6		終業式 夏期補習
8	センター試験対策		8	センター試験の過去問や対策問題をしてセンター入試で高得点が狙えるよう実力をつける。	始業式
9			8		
10			8		中間考査
11			8		
12			4		
			6		期末考査 終業式
1	私立受験対策			私立受験のために過去問や対策プリント等を行い高得点を目指す。	始業式
2					
3					卒業式

教科名	理科	科目名	生物	単位数	5 単位
対象学年	第3学年 普通科(理系)	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の一般的な教養を身につけさせ、必要な学力をつけさせることを目標にしている				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得および発展学習、自然科学の探求に必要な思考力を問う				
学習方法	演示実験や生徒実験および視聴覚教材を利用しながら教科書の内容を理解させる。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につけさせる				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と小テスト、及び 平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・実験観察の態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書、数研出版 生物 問題集、数研出版 生物 資料集 実教出版 生物総合資料				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて課外授業や宿題提出を行なう・週1回の放課後講習				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	生体機能とタンパク質	生体のタンパク質 生体内の化学反応と酵素	12	いろいろなタンパク質によって起こる生命現象について学ぶ。	始業式
5		同化 タンパク質の機能 DNAの構造と複製	18		好気呼吸・嫌気呼吸の回路について学ぶ。
6			18	炭酸同化・窒素同化について植物がどのように同化産物を合成するか学ぶ	
7	遺伝情報とその発現	遺伝情報の発現 形質発現の調節	14	核酸の構造と働きについて学ぶ。また、どのようにタンパク質を合成するか遺伝レベルで学ぶ。	期末考査 終業式
8					
9	生物の集団	バイオテクノロジー- 個体群の成長	20	人間の手で遺伝子を操作できるようになり、生物の形質をどのように変えてどのように利用しているかを学ぶ	始業式
10		個体群の変動 異種個体群間の関係	18	個体群の成長と変動・個体群間の関係について学ぶ	中間考査
11	生物の進化と分類	植物群落の生産・遷移 物質収支・物質循環 生命の起源・地球環境の変化 人類の誕生	18	植物の群落について学ぶ 生態系での物質循環の仕組みやエネルギーの流れについて学ぶ 化石や地球科学的な証拠から進化について学ぶ	期末考査
12		センタ-対策	12		終業式
1		生物の多様性と分類 植物の分類と系統 動物の分類と系統	12	多様な生物を一定の法則にしたがって、名前が付けられ、分類されていることを学ぶ	始業式
2			18		
3		二次対策			

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科	履修形態	必修	授業形態	クラス単位
科目の目標	高等学校の体育の学習では、運動やスポーツの楽しさや喜びを味わいながら、心身の発達の為の体力や技能を高めるとともに、現在から未来に向けての運動やスポーツへの「親しみ方」や「楽しみ方」を身につけていく。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を高める。				
学習方法	陸上・マット運動・サッカーを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲を高めるとともに互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験と平常点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事		
4	陸上	跳躍	3 3	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式 新入生合宿		
5		投てき	3 3 3		中間考査		
6		競走	3 3 3				
7		跳躍・投てき・競走	3 3		測定。	期末考査 終業式 夏期補習	
8			3		自己の能力に応じた目標を立てる。	始業式	
9		サッカー	パス		3 3 3	体の各部分を自分の意志で 動かせるようにする。	体育祭 中間考査
10			ドリブルシュート		3 3 3	マット運動において基礎となる 技術の習得を目指す。	文化祭
11	ゲーム		3 3 3				
12	バスケットボール	パス	3 3 3	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。 ルールを学ぶ。	期末考査 終業式		
1		ドリブルシュート	3 3 3	ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式		
2		ゲーム	3 3 3	協調性を高める学習をする。	入試 期末考査		
3					終業式		

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科女子	履修形態	必修	授業形態	クラス単位
科目の目標	高等学校の体育の学習では、運動やスポーツに積極的に参加し、現在から未来に向けての運動やスポーツへの「親しみ方」や「楽しみ方」を身につけていく。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を完成させる。				
学習方法	陸上・バドミントン・バスケットボールを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲をより高めるとともに常に互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験と平常点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	陸上	跳躍	3	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式 新入生合宿
			3		
			3		
			3		
5	投てき		3	測定。	中間考査
			3		
6	競走		3	測定。	期末考査 終業式 夏期補習
			3		
7	跳躍・投てき・競走		3	サーブの種類を 覚える	始業式
			3		
			3		
			3		
8	サーブ		3	サーブの種類を 覚える	体育祭
			3		
			3		
			3		
9	乱打		3	回数を決めて連続で 打ち合えるようにする。	中間考査
			3		
			3		
			3		
10	スマッシュ		3	スマッシュの種類を覚えて、 思い切り打てるようにさせる。	文化祭
			3		
			3		
			3		
11	ゲーム		3	協調性を高める学習をする。	期末考査 終業式
			3		
			3		
			3		
12	パス		3	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。	始業式
			3		
			3		
			3		
1	バスケットボール	ドリブルシュート	3	ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	入試
			3		
			3		
2	ゲーム		3	協調性を高める学習をする。	卒業考査
			3		
			3		
3					

教科名	外国語（英語）	科目名	オーラル・コミュニケーション	単位数	4単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース（文系）	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	幅広い話題について、情報や考えなどを整理して英語で発表したり、話し合ったりする能力を伸ばす。 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
学習内容の概要	教科書及びその関連した言語材料を用い、4領域のうち、聞く及び話すという音声によるコミュニケーション活動を中心に行う。				
学習方法	スピーチなどまとまりのある話の概要や要点を聞き取り、それについて自分の考えをまとめる。 幅広い話題について情報や考えを整理し、発表したり、話し合ったり、討論したりする。				
評価の観点・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	「Birdland Oral Communication」吉田研作他著(文英堂)2004年 「実践トレーニング基礎英単語・熟語5000語レベル」橋本宏著(中央図書)1995年				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Lesson 1	プレゼンテーション [学校紹介]	3	プレゼンテーションの基礎を習得する。	始業式 新入生合宿
	Lesson 2	プレゼンテーション	3		
5	Lesson 9	[旅行] プレゼンテーション [タイムカプセル]	1 3	物価値や自分の主張を相手に伝える。	中間考査
	Lesson 3	ディスカッション	3		
6	Lesson 4	[食事] ディスカッション	3	役割や立場を設定した模擬ディスカッションを行う。	
	Lesson 10	[マナー] ディスカッション	3		
7	Listening	[友情]	1	お互いの考えを共有する。 Listening対策演習を行う。	期末考査 終業式 夏期補習
			2		
8	Lesson 5	ディベート	3	ディベートの基礎を習得する。	始業式 実力テスト
9	Lesson 6	[AI/ロボット] ディベート	3	紙と電子メディアについて、ディベートを行う。	
	Lesson 11	[メディア] ディベート	3		
10	Lesson 7	[少子化] スピーチ	1	十分にスピーチの基礎を習得する。	中間考査
	Lesson 8	[スポーツ] スピーチ	3		
11	Lesson 12	[ボランティア] スピーチ [進路]	3	ボランティア活動参加の意義について、スピーチを行う。 将来の夢や関心のある職業を題材に、スピーチを行う。	
			3		
12	Listening		1	Listening対策演習を行う。	期末考査 終業式
			2		
1	Listening		3	Listening対策演習を行う。	始業式・実力テスト センター試験
2					期末考査
3					卒業式

教科名	外国語（英語）	科目名	リーディング	単位数	4単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の 目標	英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力を更に伸ばす。 この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
学習内容の 概要	教科書及びその関連した言語材料を用い、4領域を有機的に関連付けた活動を通して、 文章を的確に読み取る能力を養う。				
学習方法	文章を読んで、必要な情報を得たり、概要や要点をまとめる。 文章を読んで、書き手の意向を理解し、それについて自分の考えをまとめ、伝える。				
評価の観点 ・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	霜崎實 et al.、 <i>CROWN English Reading, New Edition</i> （三省堂、2009）				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Reading Skills 0-7 Lesson 1	文章の読むための7つのスキル "Stay Hungry, Stay Foolish"	5 5	パラグラフの構成 談話標識 文章の種類と構成 (語の意味の)推測 フレーズ・リーディング スキミング スキニング 人生の生き方/スピーチ	始業式 新入生合宿
5	Lesson 2 Lesson 3	"The Moon Illusion" "Papalagi Never Have Enough Time"	5 6	科学/論説文 民族・文化・現代社会/スピーチ	中間考査
6	Lesson 4 Lesson 5	"Bridge over Troubled Water" "In Search of Robinson Crusoe"	6 6	芸術・民族/論説文 冒険・生き方/雑誌記事	期末考査
7	Lesson 6 Lesson 7	"The Crameen Bank" "This Is Not a Pipe"	4 3	社会・経済・生き方/講演 芸術・生き方/論説文	終業式 夏期補習
8	Lesson 8	"This First Mission to America"	3	比較文化・歴史/紀行文	始業式
9	Lesson 9 Lesson 10	"Learning to Live with Elephants" "Losing Battle after Battle"	8 8	環境・共生/新聞記事 建築・生き方/論説文	
10	Lesson 11 Lesson 12	"Plenty of Room at the Bottom" "I Have a Dream"---Martin Luther King, Jr."	7 8	科学・理論/論説文 民族・歴史/スピーチ	中間考査
11	入試問題演習	基礎問題演習	12	センター試験対策演習	
12	入試問題演習	基礎問題演習	10	センター試験対策演習	終業式
1	入試問題演習	実践問題演習	10	センター試験対策演習	始業式・実力テスト
2	入試問題演習	合格答案への実践練習	16	各受験大学の出題傾向にあわ せた演習	
3					卒業式 終業式

教科名	外国語（英語）	科目名	ライティング	単位数	3単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	分割授業 (2分割) 両分割共通
科目の目標	情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすこと。 この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てること。				
学習内容の概要	生徒が情報や考えなどの送り手や受け手になるように具体的な言語の使用場面を設定する。その場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書くこと。				
学習方法	聞くこと、話すことおよび読むことも有機的に関連付けた活動を行いながら、より豊かな内容やより適切な形式で書けるように学習する。				
評価の観点・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	「CROWN English Writing」(三省堂) 「CROWN English Writing WORKBOOK (STANDARD)」三省堂編修所著(三省堂)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Part 2 Lesson 4	時の流れに沿って書く	3 1	時間的順序	始業式 駿台模試
	Part 2 Lesson 5	自分の将来の希望について書く	3	忠告・義務/必要/譲歩	
5	Part 2 Lesson 6	目的地までの行き方を書く	3 1	空間配列を表す表現	中間考査
	Part 2 Lesson 7	中間考査解答解説 お薦めの場所を紹介する	1 3	提案・勧誘/伝言/確信	
6	Part 2 Lesson 8	手順・方法に注意して書く	3	方法・様態/分類・列挙/数量	進研模試
	Part 2 Lesson 9	因果関係を説明する	6	原因・理由/目的/結果	
	Part 2 Lesson 10	賛成・反対の意見を述べる	3 1	賛成/反対	
7	Review	期末考査解答解説	1 6		進研模試 終業式
8			3		始業式 駿台模試
9	Part 3 Lesson 1	列を挙げながら説明する	3	例証	
	Part 3 Lesson 2	比較・対照しながら説明する	3	比較・対照	
	Part 3 Lesson 3	因果関係を説明する	3	因果関係(原因・理由/結果)	
	Part 3 Lesson 4	要約する	4	要約	
10	入試問題演習	中間考査解答解説 実践問題演習	1 1 14	基礎文法を理解し確実に 間違いなく書く	中間考査
11	入試問題演習	実践問題演習	14	センター試験対策演習	
12					終業式
1	入試問題演習	実践問題演習	9	センター試験を考慮した指導をする	始業式・実力テスト
2	入試問題演習	合格答案への実践練習	9	各受験大学の出題傾向にあわせた演習を中心に学習する	
3					卒業式
					終業式

平成21年度普通科
「総合的な学習の時間」実施計画
[時間割分のみ]

月	日	曜	3年	
4	13	月	1	小論・進路指導
	27	月	2	小論・進路指導
5	11	月	3	小論・進路指導
	18	月	4	小論・進路指導
	25	月	5	小論・進路指導
6	8	月	6	進研6月マーク
	15	月	7	小論・進路指導
	22	月	8	小論・進路指導
	29	月	9	期末考査
7	6	月	10	小論・進路指導
8	31	月	11	小論・進路指導
9	7	月	12	小論・進路指導
	14	月	13	小論・進路指導
	28	月	14	小論・進路指導
10	5	月	15	小論・進路指導
	19	月	16	小論・進路指導
	26	月	17	小論・進路指導
11	2	月	18	小論・進路指導
	9	月	19	小論・進路指導
	16	月	20	小論・進路指導
	30	月	21	期末考査
12	7	月	22	小論・進路指導
	14	月	23	小論・進路指導
1	18	月		自己採点
	25	月		2次対策授業
2	8	月		2次対策授業
	15	月		期末考査
	22	月		国公立前期